

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(岡山大学・大学院教育学研究科)

活動名	子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業（九州ブロック研修会）
対象者	各地域における青少年育成指導者，少年補導委員，子ども・若者に関する活動を行っている NPO 法人の指導者等
実施期間	平成 24 年 10 月 12 日
活動場所	公立学校共済組合別府保養所 豊泉荘
教員名（専門分野） 関係者等	藤田 博康（臨床心理学） 安藤 美華代（臨床心理学） 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）
参加者数	150 名
活動の目的	子ども・若者に係る諸問題への対処能力の向上を図り，育成支援の現場に反映させるとともに，家庭，学校，地域等が一体となった子ども・若者育成支援施策の推進を図る。
成果	子ども・若者に係る諸問題への対処能力の向上のためのスキルを身につける機会となりました。
<p><b>【活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 開会挨拶</li> <li>◆ 研修会の趣旨説明「子ども・若者育成支援施策について」 説明者氏名 梅澤 敦（内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付青少年企画・青少年支援担当参事官）</li> <li>◆ 講演「子ども・若者支援に役立つカウンセリングの基本」 講演者氏名 藤田博康</li> <li>◆ 専門研修 A「青少年のいじめ・うつを予防する心理教育的アプローチ」 コーディネーター 安藤美華代 青少年の心理行動上の問題を予防し心の健康を育む背景・意義を学び，その重要性について理解を深める。 自己洞察ならびに困難への対処解決およびソーシャル・スキルといった方法を用いて，感情面，認知面，行動面に働きかけることで，青少年の自己理解を深め人間関係力を育み社会的適応を維持・向上し，心理・行動上の問題を予防する心理教育“サクセスフル・セルフ”について，演習を通して学ぶ。</li> <li>◆ 専門研修 B「非行や問題行動のある青少年の理解と援助」 コーディネーター 藤田博康</li> </ul>	

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(岡山大学・大学院教育学研究科)

活動名	サクセスフル・セルフ研究会
対象者	学校教育関係者，臨床心理士，医師，看護師，心理学・教育学系の大学院生・大学生
実施期間	平成 24 年 12 月 9 日
活動場所	岡山大学教育学部講義棟 5208 講義室
教員名（専門分野） 関係者等	安藤 美華代（臨床心理学） 岡崎 由美子（倉敷市立倉敷東小学校 養護教諭） 吉田 章子（淳風会柳川メンタルクリニック 臨床心理士）
参加者数	30 名
活動の目的	児童期～成人期の方を対象に，教育，医療，産業・労働領域で実践されている，いじめ等心理行動上の問題を予防し心の健康を育む包括的な心理教育“サクセスフル・セルフ”に取り組んでいる実践者達が，交流できる場を作ることを目的に，研究会を企画しました。
成果	「“サクセスフル・セルフ”に慣れ親しむ機会になった」，「スクールカウンセラーの先生に関わってもらうことの大事さを感じ，連携の可能性に希望が持てた」，「生徒の声や心理教育をするときに大切にしていることを心に留めて，関わっていききたい」，「実践の様子をビデオを見て，計画から準備・評価まで取り組みの実際の話が聞けて，とても勉強になった」，「今後に向けての課題から，取り組み継続のヒントを得た」といった成果を得ました。
<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 開会宣言</li> <li>◆ 主催者挨拶「サクセスフルセルフ®について」 氏名 安藤美華代</li> <li>◆ 実践発表1「心の健康教室“サクセスフル・セルフ”プログラム—全学年での継続的取組について—」 発表者氏名 岡崎由美子</li> <li>◆ 実践発表2「スクールカウンセラーによる中学生に対する継続的心理教育—心理教育プログラム“サクセスフル・セルフ”を活用して—」 発表者氏名 吉田章子</li> </ul>	

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(岡山大学・大学院教育学研究科)

活動名	はぐくむ心・あったかハート事業～豊かな心育成事業～
対象者	岡山市立小中学校
実施期間	平成 22 年度～現在に至る
活動場所	岡山市内小中学校
教員名（専門分野） 関係者等	安藤 美華代（臨床心理学） 岡山市教育委員会
参加者数	岡山市内の 4 中学校区（4 中学校，9 小学校）
活動の目的	公正さを重んじる心，生命を大切にし，人権を尊重する心などの基本的な倫理観をはぐくみ，豊かな心をもった岡山っ子を育成することを目的に行っている事業の一つとして，社会的な課題への対処や人間関係について考える機会となる取り組みとして，心理教育“サクセスフル・セルフ”を円滑に継続して実践するために，研修会・実践への指導助言を行っています。
成果	心理教育“サクセスフル・セルフ”の授業を小学校と中学校が連携して連続的に行うことにより，児童生徒のいじめを効果的に予防することが示されました。
<p><b>【活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 随時，岡山市教育委員会とプログラム開発者(安藤美華代)とが連携して行っています。</li> <li>◆ 各中学校区内の小中学校で，プログラムの主旨を共有するために，打ち合わせ会議を行います。 参加者 岡山市教育委員会の本プロジェクトの担当者，各小中学校の学校長および本プロジェクト担当教員，プログラム開発者。</li> <li>◆ 各校で，実践に向けて，プログラムの概要と実施方法に関する講義および演習を含む研修会を行います。 参加者 教員，プログラム開発者。</li> <li>◆ 各校で実践を行い，参観したり，実践に関する検討会を行います。 参加者 教員，プログラム開発者</li> </ul>	

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(山口大学・教育学部)

活動名	特別講座“いじめ”「パーソン・センタード・アプローチの立場から見たいじめ問題——共生のコミュニティをめざして」
対象者	地域住民
実施期間	2012年12月1日
活動場所	有帆公民館（山口県山陽小野田市）
教員名（専門分野） 関係者等	押江隆（臨床心理学）
参加者数	約30名
活動の目的	いじめ問題の実際やその予防や解決に向けた鍵が、地域住民1人1人の子どもとの関わりにあることを地域住民に広く周知すること。
成果	現地の小学校の現役校長・教頭・一般の教員も参加しており、「大変参考になった」などの感想があった。
<p><b>【活動内容】</b></p> <p>いじめ問題について概説し、スクールカウンセラーによる臨床事例を通してその実際について論考を加えた。また臨床心理学におけるパーソン・センタード・アプローチやエンカウンター・グループ論から、いじめ問題の予防や解決に向けた援助のあり方を解説した。さらに、地域臨床心理学の立場から、多種多様な子どもや大人が共存できる、いじめのない共生のコミュニティの実現可能性を押江の地域実践事例を通して論じた上で、いじめ問題は学校教員と保護者などがともに協力しながら地域全体で関わらなければならない問題であることなどを論じた。</p>	